部会名

動植物の検討に関する作業部会(第2回)

日付

2018 (H30) 年 2 月 22 日

2004年11月マリンオーサ

カ号の事故で被害のあっ

た鳥などで海の状況を知

### 情報の収集

動植物の情報について 各風力発電事業者が協 力して情報を提供する 可能性はありますか?

これから洋上風力発電 が進むと思いますが、 海鳥の生息情報も追加 した方が良いと思いま す。

鳥類の行動範囲、

いる。

ルートの情報が

海上、鳥類の情 報を増やす。

動物情報を 増やす。

ント情報を活用。

猛禽類

友人からのクマタカ、オ ジロワシ、オオジシギ、 ノスリの情報があり、取 り入れてほしい。

オジロワシは冬季のみな らず通年観察されてい る。昨年は子育て3羽、 繁殖成功している。市内 にて。

動植物についての既存 情報の整理、環境省、北 海道などの資料、文献、 民間団体の調査など。

一次スクリーニ

ングでの情報が

少ない。

既存事業のアセスメ

現在の放水路の風車も天

然記念物のオジロワシを 打ち落とし何の反省もな

い。お咎めがないのはお

かしい。

渡り鳥

反映。

海岸線には余 り渡り鳥はい ない。

アセス等の鳥類調査をみる と、期間も短く、またベスト シーズンを外しているのでは と思われることが多い。

情報収集の手法

作業部会以外の情

報交換、共有の手

目撃情報の提供 の仕方は?

段が欲しい。

他地域で既に稼

働する風車の事

後調査の追跡と

ゾーニングへの

情報の出典、 年度が必要。 山科鳥類研究所 の報告がある。

ることができるのでは?

情報収集の仕組み を作る。一般情報を どう蓄積するか?

環境関連の団体へのヒ アリング、アンケート を実施しては?

平成8年度に石狩市 で行った鳥類調査の 報告書がある。

> 提供情報の扱い方を決 める。情報管理、公

得られた鳥類データ のフィルタリングの 基準を設ける。

自然・動植物

実田にオオムラサキ、ゴ マダラチョウの食草とな るエゾエノキがありま す。厚田、浜益にヒメギ フチョウが生息します。

浜益地域の植物リスト「ボ タンカ 15 号」がありまし たが、どのように利用した らよいのでしょうか?

植物、希少種、生息環境 の面情報、湿原、自然砂 丘、自然林など。

# 追加現地調査

多くの渡り鳥が

利用するエリア

哺乳類や両生類など鳥 類だけでない。データ はどうなっているの か。調査は実施されて いるのか。

今後の現地調査内 容の整理が必要。

猛禽類・渡り鳥(主にガン・ハ

クチョウ)が考慮されています

現地調査は情報の少ない 地域を重点的に。

環境への影響の分離 土地 利用改変とノイズ、シャド ーフリッカーなどが生物の 種数、個体数に与える影響 を分離して抽出できるよう な調査デザイン。

鳥類の夜間の飛

翔高度を調べ

る。難しさ。

洋上調査を行うのか?

猛禽類

オオタカ、ハイタ カ、ハチクマ等の 夏のタカ類の調査 はやるのか?

クマタカ繁殖 見え ない場所の把握は行 うのか?

フクロウ類の調査は やるのか?

オジロワシは繁殖 しているのか?

渡り鳥、小鳥類、シ ギ、チドリ類はどれ だけ気にするか?

陸上・海上を含 めた鳥類の移動 ルートの解明。

(時期・高度)

アンブレラ種以外の鳥 類調査はどのぐらいま でやるのか?

が、希少種の陸性の鳥類はどう の特定。 でしょうか?あるアセス書では アカモズが確認されている。

石狩川河口の渡り

鳥にとっての重要

性の解明。

渡り鳥

鳥類は確認された所

にとどまっているも のではなく、広く飛 び回る。

鳥類の衝突リス クの不確実性。

事後調査

鳥類全般

既設風車の 24 時

間 365 日のカメラ

設置でなければ

バードストライ

クの正しい把握 はできない。

現地調査の市民 参加、引継ぎは?

現地環境調査の継続 はいつまで?

ゾーニング後の調 査は行うのか?

### 風車の影響

マイナス

プラス

風車のシャドウフ リッカー、音は動 植物にとって脅威 である。

カラスが低周波 音で市街地に降 り立つのではな いか。

風力発電は風を弱める効果がある。樹木を育てる にはよい環境。

暮らしとの離隔、大型風車からの振動、低周波音が心配、500m などとは信じられないくらい。

動植物の影響はないと思う。日常の風害の方が大きい。

樹木の成長を促すこ とにより、魚介類の 生育に効果がある。

大型風車の風や振動は漁業、森林に徐々に影響がでて くる。

> 風力発電を設置した場合、風切り音が家畜に 影響あるのでは。

住宅、働く場などが近く、 健康被害が心配である。 コウモリの肺うっ血、人 間と同じ。 自然環境に対する負荷はOではないと思われるが、人間が生きていく上ではあらゆる面で自然に対する負荷が課せられていると思う。風力発電による負荷はどの程度なのか。許される範囲ではないのか。

### ゾーニング

希少種、絶滅危惧種の繁殖 が確認、予測されている場 所以外は容認で、小鳥類を 考慮するならばすべての場 所が否。

石狩、厚田、浜益の自然、 花が大好きで歩いている。自然、景観が壊されることを懸念している。

海外では洋上風発はイギリス、デンマーク、ドイツで 20 km、35 km、100 kmなどと陸地から離れている。

植物、希少種、生 息環境の面情報、 湿原、自然砂丘、 自然林など。

動植物の生態系が変わると思われるので、適地エリアは無いと考える。

流域考慮、水生生物、 ニホンザリガニ、ホタ ル、上流工事の影響が 考慮できるように。

漁業は石狩にとってとて も大切です。洋上風力と の協調は無理だと思う。

ゾーニングすることに よる導入可能エリアの 拡大のリスクはないの でしょうか。

風車に引き付け

られる動物はい

るのか。

規制のかけ方に段階をもたせる 開発を一辺倒に規制するのではなく、「土地」利用改変を何%以下に抑える」「高さを何mまでにする」などの複数の基準で柔軟にゾーニングする。

保全すべき環境の創出 海浜から海岸林の移行 帯が生物多様性保全上、 重要な地域。

## その他

風力発電のある 現地を是非みな さんに見てほし い。 石狩市内の既設風車、計画中風車に対する審議会の資料を参考資料として ゾーニング会員全員に配布してほしい。

資料は当日でなく 前もって送って欲 しい。

「普通の種」という言葉は生物に対する差別であると思う。